

令和5年6月27日 定例記者会見資料

杉村楚人冠記念館企画展 関東大震災100年展示 「1923―関東大震災を生きた人々―」

今年は関東大震災から100年目となる、節目の年です。多くの人が様々なものを失いましたが、東京朝日新聞社のジャーナリスト・杉村楚人冠もその一人でした。今回の展示では、 当時の日本の様子や楚人冠と家族の様子を示す資料から、関東大震災を生きた人々について 紹介します。また、前回の企画展示と同様に、分かりやすい漫画での解説もあります。

○楚人冠と関東大震災の関係を示す資料

R. B. Davies 書簡「震災で息子2人を亡くした楚人冠へお悔やみ」大正12年11月27日 楚人冠は震災で、入院中だった息子2人を亡くしました。同じ病院に入院していた彼らは、発見された時、お互いに寄り添い、抱き合いながら亡くなっていたそうです。若い2人の死を多くの人が悲しみ、日本のみならず、R. B. Davies 氏をはじめ海外の知り合いからも、多くのお悔やみの手紙を受け取りました。国際的に活躍した楚人冠ならではの資料です。

<u>杉村広太郎『アサヒグラフ特別号 大震災全記 最も整った記録と画報』(東京朝日新聞社</u>グラフ局) 大正12年10月28日

楚人冠は日刊『アサヒグラフ』を刊行するグラフ局長として、日々仕事に励んでいました。 震災で刊行に必要な資料が失われ、日刊としての刊行が困難となり、週刊になると、楚人冠 はグラフ局長を辞しました。そんな楚人冠が最後に魂を込めた仕事が、この『大震災全記』 の発行でした。震災時の貴重な写真資料として、非常に高い価値がある資料です。

日時:7月11日(火)~10月1日(日)午前9時~午後4時30分(入館4時まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌平日)

場所:杉村楚人冠記念館

入館料:300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)

【問い合わせ】 我孫子市教育委員会 生涯学習部文化・スポーツ課 杉村楚人冠記念館 担当 武藤 **20**04-7187-1131 上:絵葉書[東京地震火災 避難者の群れ]

中央:杉村広太郎『アサヒグラフ特別号 大震災全記 最も整った記録と画報』表紙

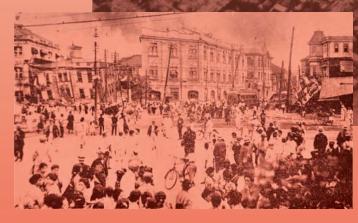
下:絵葉書[東京地震火災 日比谷交差点の群衆]



夏期企画展 関東大震災 100 周年展示

1923

関東大震災を生きた人々



7月11日(火

10月1日(日)



開館時間:午前9時~午後4時 30 分(入館午後4時まで)

休館日 月曜日

入館料:一般 300 円/高校・大学生 200 円/中学生以下無料 団体 20 名以上 2 割引/障がい者免除あり

3 館共通券(白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限 1 か月)

2館共通年間パスポート(白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり)

一般 2,000 円

交通手段:JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分 阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分 ※駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。

> 我孫子市杉村楚人冠記念館 〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131

> The Haven Abiko, Chiba-ken …安息の地、千葉県我孫子

